

あすなろ

東京都港区三田 3-2-20 TEL 03-3455-6006
<http://oak47-02.web.infoseek.co.jp>



企業の社会的責任
09年、民間企業で働く人の年間平均給与は97年から61万円減の406万円。就業者数は275万人減、正規社員数は432万人減の3380万人。これらの結果、税収、保険料などの減少と結びついて日本社会の土台が崩れてきています。企業は何のため、誰のためにあるのか問われています。

45億円の黒字予想を詐欺まがいの操作で特別損失を創りだし280億円の赤字計上

首切り費用
70億円

+

退職給付債務
220億円

=

特別損失
290億円

億円 ▲:赤字		2月計画	10月計画	2月計画	10月計画	10月目標
連結決算	2010年3月期	2011年3月期	2011年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2016年3月期
売上高	4,439億円	4,500億円	4,500億円	5,000億円	5,200億円	6,000億円
営業利益	140億円	120億円	120億円	180億円	220億円	300億円
営業利益率	3.1%	2.7%	2.7%	3.6%	4.2%	
経常利益		80億円	55億円			
当期利益	36億円	45億円	▲280億円			
純有利子負債率	1.8倍			1.3倍	1倍以下	
国内企業数	※			6割削減	35	
自己資本比率	15%				20%以上	

◎純有利子負債率: (負債-預貯金) / 自己資本 自己資本比率: 自己資本 / 総資本

※10年3月期の国内子会社数は54社(内 連結35社) 国内関連会社数は12社

隠されていた首切り
2月に「これまでの分社化・別会社化の施策(分散型経営)から統合型経営への切り替えで収益力の最大化が目的の中期経営」との説明だけで、人員削減計画は隠されていました。企業業績が悪化する

92年、5億円の赤字で2000人の首切りが提案されてから18年。10回の最終赤字でした。その度にリストラが提案されました。職場は雇用も賃金も労働条件もやる気も低下しています。10月8日に発表された経営計画は前年に一人平均85万円の賃金ダウンで36億円黒字に協力したばかり、いきなり首切りの提案に職場は怒りが湧き起こっています。

92年、5億円の赤字で2000人の首切りが提案されてから18年。10回の最終赤字でした。その度にリストラが提案されました。職場は雇用も賃金も労働条件もやる気も低下しています。10月8日に発表された経営計画は前年に一人平均85万円の賃金ダウンで36億円黒字に協力したばかり、いきなり首切りの提案に職場は怒りが湧き起こっています。

年金積み立て不足は以前から

沖電気の企業年金は資金運用の悪化などから将来の安定的な給付に必要な積み立てができていません。

しかし、基金の7月の公表は「現在の回復計画で積み立て水準はクリアできるので対策の必要はありません」となっています。積み立て不足300億円超は以前から判明していたことです。なぜ2月で補填を計画せず、今なのでしょつか経営不信を誘っています。

■企業利益優先の労働組合は労働者利益優先への転換が必要です。

変転する方針が人材もやる気も奪う

2月計画で発表せず、なぜ今なのか？

従業員の給料を削って利益に迫りたい後に1000人の首切りなんて許せない

- ◆ 沖電気グループの国内従業員数は2000年から9,123人減少
- ◆ 2000年～10年間のリストラ費用は676億円

非情 赤字の度に資金を捻出して首切り

	億円 ▲:赤字		連結従業員数		
年・3月期	リストラ費用	最終損益	国内	海外	主なできごと
00年	16	11	20,396	5,048	2000人削減、基板事業などの統廃合
01年	50	89	20,182	5,444	パート・派遣などの契約打ち切り
02年	160	▲340	18,501	5,096	6%賃金カット(約20億円)、分社化促進
03年	61	▲65	16,869	5,651	芝浦・小金井など売却、賃上げ9ヶ月延期
04年	77	13	15,350	5,610	厚生年金代行返上で104億円利益
05年	24	112	14,731	5,679	利益準備金73億円取崩、退職金制度変更
06年	14	51	14,594	6,581	株・為替での利益103億円、労組運動理念変更
07年	32	▲364	14,405	6,975	1700人の異動(転出含む) 固定費削減150億円
08年	48	6	15,313	7,327	賃上げ9ヶ月凍結・資産売却益68億円
09年	187	▲450	11,400	6,015	半導体売却(5500人減) 売却益794億円
10年	7	36	11,273	6,838	固定削減150億円・賃金減平均85万円
11年予算	70	▲280			1000人削減、国内グループ企業の統廃合

※リストラ費用: 事業再建改造改革費用、特別退職金などの合計

10月8日 発表の沖電気 中期経営計画

2010年3月期 経営基盤強化費用 ①企業年金 基金積立不足の補填 220億円
② 1000人削減 70億円

2014年3月期 基盤強化施策での効果額 ③退職給与制度の改定 35億円
④調達 コスト削減 50億円 ⑤業務効率化と人材適正 115億円

各紙 新聞報道

沖電気、1千人規模削減へ

沖電気工業は8日、業績の低迷を受けて、国内全体の1割弱に当たる約1千人の人員削減に当たる約1千人の人員削減を発表した。リストラ全体の費用として、約290億円の特別損失を計上。2011年3月期連結決算の純損益予想を、45億円の赤字から280億円の赤字に下方修正した。

出年金を一部導入し、会社側の負担を減らす。国内の生産拠点の統合を進める。また、減資で過去の赤字を穴埋めするとともに、今年12月に取り引先や金融機関などに約300億円分の優先株を発行する第三者割当増資を行い、財務体質を改善する。

一方で、成長分野と位置づける情報システムやプリンタなどに投資を集中する方針を打ち出した。新中期計画では、13年度に売上高5200億円、営業利益220億円を見込む。

朝日新聞 10月9日

退職金給与制度改定案

《現行の制度は》
退職金+確定給付企業年金
給付額が確定している。資金は年金基金が運用。不足した場合は企業が責任を持ち補充。

《改定案は拠出制度中心に》
退職金+確定給付企業年金
+ 確定拠出年金
企業拠出額（支出）が確定している。資金の運用は従業員が運用するので給付額の責任は企業にない。

冗談じゃない！ 今、会社を辞めるわけにはいかない！ 経営者は責任をとってないぞ！

賃金カットの後、今度は人員削減なんて

「職場異動が頻繁で仕事も生活も安定せず、モチベーションが上がらない」という状態から抜け出したい。という社員の声を無視した沖電気の非情な提案に怒りが大きくなっています。



OKI、最終赤字280億円 今年年金債務処理かさむ

OKIは8日、年金債務の処理や早期退職優遇制度の実施で、2011年3月期の連結最終損益が280億円の赤字（前期は36億円の赤字）となる見通しだと発表した。

従来予想は45億円の赤字。財務体質が脆弱（ぜいじゃく）になっているため、優先株を300億円発行し資本増強する。ATM事業などに経営資源を集中し、再建を急ぐ。同社の年金の積み立て不足は10年3月末で341億円。年間60億〜70億円の償却負担が発生していた。運用環境の悪化に加え、会計基準が変更されれば積み立て不足を貸借対照表に直接反映させ

OKIの連結業績

項目	2007/3	08/3	09/3	10/3	11/3(予)
売上高(左軸)	8000	6000	4000	2000	0
最終損益(右軸)	200	-200	-400	-600	-800

とて今期に290億円の特別損失を計上する。増資なども実施する。12月22日付で資本金と資本準備金を計773億円取り崩し、10年3月末で635億円ある累積損失を解消。みずほコーポレート銀行、明治安田生命保険など14社を対象に優先株300億円を発行する。12月21日に臨時株主総会を開いて、定款変更などを決議する。

人員費などのコスト削減の徹底やATM事業などの強化で、14年3月期に売上高5200億円、営業利益220億円を目指す。前期末で15%の自己資本比率を20%以上に引き上げたい考え。

日本経済新聞 10月9日